

自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目のⅡやⅢ等)から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したのものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

○記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点](アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	グループホーム ケアクオリティ 桜の詩 2階
(ユニット名)	
所在地 (県・市町村名)	静岡県清水区船越町13番地
記入者名 (管理者)	後藤 克恵
記入日	平成 20年 11 月 5 日

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	桜の詩独自の基本理念が出来ています。	○ ご利用者様が常に穏やかに過ごされるよう支援を心掛けています。
2	<input type="checkbox"/> 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎朝の引継ぎの中で確実に申し送りをし、職員が常に変わらぬサービスを提供できるように取り組んでいます。	○ 職員間の考えもお互いに理解し合えるように努めていきたい。
3	<input type="checkbox"/> 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	地域推進会議の中で呼びかけをしています。防災訓練等の行事には、近隣の方々の参加を自治会を通し呼びかけしています。	
2. 地域との支えあい			
4	<input type="checkbox"/> 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	職員は、散歩中など、こちらから進んで挨拶するように心掛けています。	○ ホーム行事の中で、近所の方々を招待したり、入居者様と一緒に庭先訪問などが出来たらいいと思っています。
5	<input type="checkbox"/> 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の行事等に参加させて頂き、自然体で皆様の中に溶け込んでいけるよう努力しています。	○ 今後も継続し行っていきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	現在は、まだ話し合いが行われていない。	○	今後の話し合いの時間を設け、地域高齢者人も為に出来る事・協力出来る事を話し合いをしていきたいです。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価結果は定例会で話し合い、全職員が理解しサービスの向上に図れるように努力しています。	○	左記継続実行中
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営会議を実施し、地域住民・家族代表・地域他職種にサービスの実施を報告し、そこで出た意見を参考にサービスに導入できるように努めています。	○	左記継続実行中
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	行事を通じ連携を図っています。	○	左記継続実行中
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	必要な入居者に対しては、入居後活用出来るように支援しています。全職員が制度について理解が出来るように本社研修や内部研修時、それぞれが勉強している所です。		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	左記については定例会で話し合い、常に専門職である事を自覚し入居者に接することで防止に努めている。	○	入居者の尊厳を重んじ、特に見過ごされがちな言葉の虐待には気をつけています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書に添ってゆっくりわかり易く説明し納得されています。	○ お試し期間を通し家族より情報収集をしています。
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	生活上においての要望・不満・苦情などは直接管理者、職員に言い易いような環境作りを常に心掛けています。	○ 全職員の名前と顔がわかるようにホームの玄関に写真を掲示しています。また、御家族から直接意見を伺うことが出来るように投書箱を設置しています。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月の行事予定や日常の様子等をお便りにして送付しています。また、御家族が面会に見えた際に近状報告をしています。状態の変化がある方については随時連絡をしています。	○ 桜の詩通信を毎月発行し近状報告をし、預かり金収支報告など今後も継続して行っていきたい。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時など直接家族と話す機会を作り、意見等を伺えるように心掛けています。家族会を開催し意見を伺う機会を作っています。	○ 左記継続実行中
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定例会時、管理者も参加し他職員の意見や提案は提出できています。	
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	職員不足の為、困難だが、状況の変化に対応し、柔軟な対応が出来るよう勤務の調整をしています。	○ 日中は3名の職員で柔軟に対応できるよう努めています。
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の様子を見ながら、随時関わりを持ち要望や不満を受け止め、離職・異動を防ぐように努力しています。	○ 入居者様に不安や不信感を与えないような関係づくりに努めています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
5. 人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	入社後全職員が社内研修を受講し、スキルアップが出来るようにしています。	○	今後も職員のスキルアップが出来るように、内部・外部研修で勉強していきたいです。
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	運営推進会議開催通知書を送り、参加のお願いをしています。お互いに協力出来る事を話し合い、サービスの向上に役立てています。		
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	公休・有給が希望通りに取れるように努めています。		
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	内部・外部研修を行い、知識の向上に努めています。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居前に本人と面談し不安を取り除けるように話を聞いています。また、ご自身で訴えることの出来ない方には、信頼して頂けるように本人の気持ちになり受けとめるような努力をしています。	○	情報を職員間で共有出来るように話し合いをしています。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居前にご家族と面談し納得行くまで話し合いをしています。	○	情報交換をし意見などをお伺いしています。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご家族の話を良く聞き状況の把握に努めています。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	グループホームの雰囲気に慣れて頂けるように御家族と相談しています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしなが喜悲哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	リハビリ体操や今まで出来なかったことが出来た時、体操する喜びや楽しみが一緒に行動する事の支えになっています。	○	毎日の生活の中で声掛けを重視し、会話が多く出来るように努めています。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	行事には、御家族に呼びかけ協力して頂き、一緒に楽しい時を過ごして頂ける様にしています。来訪時には、近状報告を行い、共に支える姿勢をとっています。	○	気軽に意見が出来るような関係作りにこれからも努めていきたい
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	来訪時には、御家族でゆっくりと過ごして頂ける様にホール・自室を自由に使って頂き、いつでも面会に来やすい雰囲気作りをしています。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの人への手紙や電話は希望に合わせて対応しています。散歩・買い物・地域の行事などで交流出来るように配慮しています。	○	なかなか面会に来て頂けない方については、連絡し面会に来て頂けるようにしています。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	入居者同士の関係を壊さないように配慮しさりげないサポートが出来るように心掛けています。	○	左記継続実行中

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	今の所対象となる方がいないので行っていません。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	毎日の生活の中で入居者の要望を出来る限り聴く様に心掛けています。困難な場合は、安全面を考慮し楽しみのある生活が送れるようにしています。	○	ケアプラン作成時に、本人より意向を聞き、プランに組み込むように努めています。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の面談時、本人・家族より話を聞き、必要な方については在宅にいた時のケアマネジャーに情報の提供を依頼しています。	○	情報収集で得た内容をカンファレンスで確認し合っています。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	アセスメント表などを利用し一日の過ごし方などを把握し手います。また、心身状態の把握は介護記録や毎日の申し送り・定例会などで把握出来るように努めています。	○	介護記録の記入を徹底し職員一人ひとりが入居者の状態を把握出来るように努めています。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ケアプランを作成する際、ご本人・御家族・職員同士が話し合いプランに取りこんでいます。	○	左記継続実行中
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	状態の変化があった場合、職員・御家族で話し合い、対応の見直しやプランの見直しを行っています。	○	職員同士意見交換をしています。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	入居者の会話や様子など時間ごと詳細に個別記録に記入するよう、職員同士情報交換が出来るように連絡ノート等の利用により共有しています。	○	左記継続実行中
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人の意向を尊重し季節の行事への参加及び公民館の利用を柔軟に支援しています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	消防署と協力し避難訓練や防災訓練を行っています。防災用品の備蓄も担当職員中心に行っています。	○	今後地域住民の方にも参加してもらえるように呼びかけをしていきたい。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	入居者の外出支援の為にボランティアを頼み、公共のリフト車を利用しています。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域推進会議を通じ情報交換をしています。また、他包括支援センターとも情報交換が来ています。		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ホームドクターを確保し、月に1回往診して頂いています。個々の希望に応じ医療機関を決め、必要に応じ受診の介助も行っています。	○	左記継続実行中

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	月に1回の定期健診はかかりつけ医があり診断や治療を受けられます。	○	病状の観察を継続し確な治療が受けられるよう情報収集に努めていきたい。
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	毎週訪問看護師による健康管理・日常の健康面での相談を行っています。また、緊急時には対応して頂けるようになっています。	○	緊急時にはホームドクターに往診して頂いています。
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入居者のサマリーを入院時に持参し、病院関係者との情報交換に努めています。入院時の状態も常に把握し、いつでも退院出来るような体制をとっています。		
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	現在、対象となる方がいませんが、終末期については毎月の定例会の中で話し合いをしています。	○	常に健康管理に注意し、家族の意向に沿えるよう話し合いの機会を作っています。
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	定期受診のほか、訪問看護師との連携を密にし、医師と連絡調整が出来るよう協力を依頼しています。		
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	医療関係・家族・地域の方との情報交換を行い、情報の共有化を行っています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	入居者の居室に入室する際は、必ずノックし声を掛けてから入室するようにしています。記録等は入居者の目の届かない場所に保管しています。また、御本人を尊重し、言葉使いには留意しています。	
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	日々の生活の中でさりげなく利用者の希望や思いなどを聞き取り支援できるように情報の共有をしています。	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員の業務を優先してしまう現実はあるが、その中でも、個々のペースを守るように心掛けています。	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	訪問美容を利用したり、御家族に付き添って頂いています。日常の服装はご自身が決定し、出来ない所については、職員が支援しています。	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節に合わせメニューを考えたり、日々の食事も健康を保つ為の調理法の工夫をし、栄養が偏らないように努力しています。また、畑で作った野菜を献立に取り入れています。	○ 職員も共に席に付き同じ食事を頂いています。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	一緒に買い物に行き購入することもあるが、全員が同じものを召し上がっている為、個人的には本人の希望に応じ渡しています。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	日中と夜間のリズムを把握し、オムツ使用の検討・調節をしています。ご本人より訴えがない方については、本人の動きや様子などを見ながら、定期的にトイレ誘導をしています。	○	個別排泄チェック表の利用により排泄状況の把握をしています。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的には曜日を決め入浴しているが、その日の体調などにより、柔軟な対応を心掛けています。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	寝具は週1回洗濯し、清潔を保っています。毎日の申し送りの中で、入眠状況の確認をし、昼間横になる場合は、寝すぎないように声掛けをしています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	ホールや居室などの掃除・洗濯たみ・食後の食器拭きなど、個々に合わせ出来る事をお願いしています。	○	職員が全て行うのではなく、入居者が出来る事を分担し協力して出来るようにしていきたい。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ほとんどの方がホームで管理していますが、若干名本人が管理しています。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	希望に沿ってお寺の行事に職員と一緒に参加したり、書道教室に付き添ったりしています。他の方については、散歩に出たり、少人数でのドライブに出掛けたりしています。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	月に1度は外出できるように計画し、デパートやファミリーレストランでの食事・買い物など行っています。また、港に船が入港した際、希望により見学に行ってきました。	○	今後も、季節の行事・イベントなどに外出する機会を作るようにしていきます。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話や手紙など、入居者の希望に応じ対応しています。また、今年は、入居者全員が暑中見舞いを御家族・友人等に出しました。	○	季節に合わせて手紙などが出せるよう支援していきます。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会時間は特に決めていないので、自由に面会に来て頂いています。ホール・居室などで過ごして頂いています。		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	左記の基準について、月1回の定例会で職員が話し合いをしています。	○	現在、身体拘束は行われていないので、今後も行わないようにしていきます。また、職員が理解を深めるよう勉強していきたいです。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	通常は施錠はせず、取り組んでいるが、時と場合により2階フロアと階段を仕切るドアのみ鍵を掛ける場合があります。		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	職員は常に危険がないよう入居者を見守っています。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	本人に確認したうえで、必要物品であれば自室に置くが、危険がないように職員が見守りをしています。また、必要がなければ一定の場所に管理しています。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故が起きないように常に見守りをしています。また、事故が起きてしまった際は、状況に応じ柔軟に対応し、全職員が事故についての把握が出来るようにし、再発防止に努めています。	○	事故が起らないよう、ヒヤリ・ハットの段階から全職員で話し合いを行い、事故を未然に防ぐようにしています。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	救急法の講習に職員全員参加し必要な知識を得ています。	○	救急法について定期的に勉強会を開き勉強していきたいです。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	定期的に防災訓練の実施をしています。また、御家族・隣人への協力も要請しています。	○	定期的に避難訓練の実施を行っています。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	入居時、面会時に随時説明し了承を頂いています。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日のバイタルや体調の変化があれば、職員同士申し送りをし情報を共有しています。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	全部の薬に対する理解はないが、血圧等重要な薬については、理解が来ています。また、薬局に依頼し薬の1包化にして頂いています。不明な点は、その都度薬局に問い合わせをしています。	○	誤薬することがないように、配薬時、名前や日時・飲み込み確認を行っています。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	調理の工夫をすると共に排便回数・水分・食事量など毎日確認し、適度な運動も心掛けています。	○	便秘者に対し、医師や訪問看護師の助言を受けています。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	自分で出来る方については、見守りをし出来ない方については、毎食後口腔ケアを介助で行っています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	入居者の状態の把握をし、摂取量を調整しています。メニューは季節の物を取り入れています。摂取量は必ず記録に残しています。	○	栄養バランスをしっかり考慮し、メニューの作成をしていきたいです。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染症マニュアルがあり、定例会時、不定期ですが、感染症予防委員の方中心になり勉強会を行っています。	○	勉強会開催を多くしていきたいです。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理後は必ず布巾・まな板の消毒を行っています。曜日を決め、食器類の消毒を行っています。食材は、新鮮・安全なものを使用するよう賞味期限・消費期限の確認をしています。	○	食中毒が発生しないように、キッチン・調理器具の衛生管理・食材管理等に努力していきたいです。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関周囲に花を植えたり、椅子の設置をし、入ってきやすい環境を作っています。	○	誰でも気軽に入れるような、オープンな玄関作りをしていきたいです。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホールや廊下などは季節感のある飾りや行事の写真の展示をし、食事中は、音楽をかけ穏やかに食事が出来るように心掛けています。	○	今以上に居心地がよく過ごせるように入居者と一緒に工夫していきたいです。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食事のとき以外は自由に座って頂いています。ホールにくつろげるようにソファを設置しています。	○	暖かみのあるホールにしていけたらと思います。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人や家族との話し合いで、使い慣れたものや好みの物を使用し、各々心地よく生活できています。	○	心地よく過ごせるように整理整頓を心掛けたいです。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	換気扇の利用や窓の開閉で換気を行っています。温度調整は入居者の状況に合わせて設定しています。	○	外気・内気の温度差がないように配慮しています。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活を送れるように工夫している	必要な場所に手摺りが設置してあるので、安全に生活できています。	○	安全で自立した生活が送れるように見守りをしていきたいです。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	各居室は植物の名前が付いていて、入居者にも覚えやすいような工夫をしています。	○	職員間で情報の共有を今後も行っていきたいです。
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	駐車場やベランダで日光浴をしています。	○	ベランダの活用方法を検討したいです。

V. サービスの成果に関する項目		
項 目	最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
88 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の
	<input checked="" type="radio"/>	②利用者の2/3くらいの
	<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいの
	<input type="radio"/>	④ほとんど掴んでいない
89 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input checked="" type="radio"/>	①毎日ある
	<input type="radio"/>	②数日に1回程度ある
	<input type="radio"/>	③たまにある
	<input type="radio"/>	④ほとんどない
90 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input checked="" type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/>	④ほとんどいない
91 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input checked="" type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/>	④ほとんどいない
92 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input checked="" type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/>	④ほとんどいない
93 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている	<input checked="" type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/>	④ほとんどいない
94 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input checked="" type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/>	④ほとんどいない
95 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	<input checked="" type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と
	<input type="radio"/>	②家族の2/3くらいと
	<input type="radio"/>	③家族の1/3くらいと
	<input type="radio"/>	④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

近隣に公園があり自然に囲まれている為、四季が身近に感じる事が出来ます。日常生活のなかでは、毎日リハビリ体操を取り入れ筋力低下を防ぐようにしています。また、今年は行事に力を入れ外出する機会が増え、入居者の方の表情が生き生きとしているように感じられます。自治会への参加も行い、お祭りなどにも積極的に参加しています。